



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2710 号 2015.11.10 発行



シリーズ刊行開始 「マイナンバー」解説の児童書

読売新聞 2015年11月09日
国内に住むすべての人に12桁の番号を割り振るマイナンバー制度について解説する児童書「新しい制度 マイナンバーがよくわかる！」シリーズ（フレーベル館）の刊行が始まった。

マイナンバーの仕組みなどを、図やマンガを用いながら子どもにもわかりやすく説明している。主に公共図書館や学校図書館向けに販売されるが、個人でも書店へ注文すれば購入できる。

10月に出版された第1巻の『マイナンバーってなんだろう?』（4000円）＝写真＝では、制度の概要やマイナンバーカードの作り方などについて、実例を示しながら解説。個人情報管理するうえで気をつけなくてはならないことについても触れており、どうやって番号を管理したらいいのか、悪意のあ

る人に知られるとどんな危険性があるのかを学ぶことができる。

第2巻『もっと知りたい! マイナンバー』は、2016年1月に刊行の予定。外国のマイナンバー制度や、制度のこれからなどを紹介するという。

県内初、橿原に到着 - 9日から順次配達/マイナンバー通知カード



奈良新聞 2015年11月8日
トラックから郵便局内に運び込まれる番号通知カード関連の郵便物＝7日、橿原八木町の橿原郵便局

住民票を持つ全ての人に12桁の個人番号を割り当てるマイナンバー制度で、番号通知カードが7日、県内では初めて橿原市八木町1丁目の橿原郵便局に到着した。

午前10時ごろ、同カード関連の郵便物を積んだトラックが同局に到着。段ボール146箱が車両から降ろされ、局内に運び込まれた。

旭日中綬章に高岡國士氏 2015年秋の叙勲・褒章、福祉関係の受章者を紹介



福祉新聞 2015年11月09日 福祉新聞編集部

2015年秋の叙勲と褒章の受章者が発表された。厚生労働省関係では、叙勲を440人が、褒章を159人・9団体が受章。中でも高岡國士・元全国社会福祉協議会副会長（元経営者協議会長）が旭日中綬章を受章した。福祉関係では社会福祉功労74人、児童福祉功労45人、

母子福祉功労1人、保健衛生功労3人、看護業務功労6人、厚生労働行政功労4人、厚生行政功労1人が叙勲を受章。褒章ではボランティア活動などをした17人・9団体が緑綬褒章、9人が黄綬褒章、39人が藍綬褒章を受章した。

自立の夢 隠し味 20の福祉施設...きょうAB-1 読売新聞 2015年11月08日 岡山 ど根性ねぎ焼き

高梁川流域の障害者就労施設で作られた軽食やスイーツを競う「AB-1 (エビワン) コンテスト」が8日、倉敷市松島の川崎医療福祉大で開かれる。食を通して障害者への理解を深めてもらうのが狙いで、昨年に続いて2回目。20団体が〈自慢の逸品〉で上位を狙う。(立山光一郎)



倉敷地域自立支援協議会などが昨年、「第10回障がい者福祉くらしきフォーラム」に合わせて企画。就労継続支援事業所の「A型」「B型」にちなんで大会名を付け、同市内の13団体が参加した。

具だくさんけんちん雑煮

今回は、エリアを市内から同川流域に拡大。新見、高梁、総社、笠岡各市と矢掛町からも応募があった。部門を「軽食」「菓子」に分割。午前10時半～午後3時に来場者の投票を行い、それぞれ上位3点を決定するほか、障害者の関わり方、店の飾り付け、衛生状況などを主催者が評価する市長賞を新設した。

各団体は、自家栽培の野菜を練り込んだねぎ焼き、特産のイチゴやショウガを使ったスイーツと、ご当地の味を前面に打ち出したメニューを用意。地元のゆるキャラをデザインに取り入れる工夫も凝らす。

食べてミネストローネ

倉敷市障がい福祉課によると、市内だけでも就労継続支援事業所は77あり、箱の組み立て、日用品や食品の製造といった仕事を行っている。ただ、販路が限られ、賃金が低いという課題があるという。担当者は「味わい、楽しんでもらうだけでも励みになる。大会をきっかけに、雇用などの課題を考えてもらえたら」と呼びかける。



夏のボーナス 2年ぶりに減少

NHK ニュース 2015年11月9日

ことしの夏のボーナスは1人当たりの平均で35万円余りと前の年より2.8%減り、2年ぶりに減少したことが、厚生労働省の調査で分かりました。厚生労働省は「パートなど非正規労働者の割合が増えたため平均を押し下げた」としています。

厚生労働省が、従業員が5人以上いる全国およそ3万3000の事業所を対象に調べたところ、ことしの夏のボーナスは1人当たりの平均で35万6791円でした。

これは前の年より1万3759円少なく、率にして2.8%の減少で、夏のボーナスが減るのは2年ぶりとなります。

産業別では、卸売り業・小売業が6.5%の減少となったのをはじめ、医療・福祉が4.7%のマイナス、製造業が3.3%のマイナスなどとなっています。

一方、経団連が東証1部に上場する主な企業を対象にした調査では、夏のボーナスは平均で89万円余りと去年をおよそ2.8%上回っていて、大手企業との格差が広がった形

です。

厚生労働省は「再雇用の高齢者やパートなど非正規労働者の割合が増えたため平均を押し下げた」としています。

【出前講義@関学大】「暗いイメージ吹き飛んだ」学生ら障害者支援施設で交流



産経新聞 2015年11月9日
陶芸作業所を見学する関学大の学生ら。作品の皿や生け花の剣山はイベントなどで即売している＝11月6日、大阪府池田市の「三恵園」

関西学院大経済学部の学生ら14人が6日、大阪府池田市の障害者支援施設「三恵園」と「こすもす」を訪ね、利用者や職員と交流した。産経新聞社が同大学で行っている授業の一環で、約2時間にわたって現場の課題などを学んだ。

両施設とも産経新聞厚生文化事業団が運営しており、入所施設の三恵園では知的障害のある約30人が暮らしている。こすもすは通所施設で、約20人がグループホームや自宅から通っている。

学生らは2班に分かれ、1人部屋になっている三恵園の居室や陶芸作業所、こすもすの作業室などを回り、部品の組み立てや陶芸、貼り絵の活動などを見学した。

さらに、近くの住宅街の民家を借りて今秋オープンしたばかりのグループホームも視察。4人の利用者の日常の暮らしや、ホーム開設には地域の人々の理解が不可欠であることなどの説明を受けた。施設はあくまでも「通過施設」であって、地域社会での自立が支援の最終目標であることなども学んだ。

スタッフは「職員本位に物事を片づけていないか、常に注意している。利用者への理解を深めてもらうために、地域の人々との交流を大切にしている。目の前の支援にとどまらず、私たちの活動が地域振興にもつながるような広い視野で考えている」と説明した。

学生の1人は「福祉現場に暗いイメージを持っていたが、まったく違った。利用者も職員も明るい笑顔で、楽しそうだった。会話のできにくい利用者との意思疎通をはかるためにさまざまな工夫がなされており、ものすごく学究的だと感じた。『いいところを見つける支援を心掛けている』という話は、社会人になってからも大切な視点だと思った」と話した。

発達障害児に体操を 函館にデイサービス施設「ジャンピング」

北海道新聞 2015年11月9日

【函館】発達障害のある子のための児童体操デイサービス施設「ジャンピング」が10月、函館市高盛町14にオープンした。体操などの運動に特化したデイサービスは道南では初めてで、同施設は「元気に体を動かすことで、子どもたちの心身の発達を図りたい」と利用を呼びかけている。

体操や福祉の資格を持つジャンピングのスタッフ

発達障害のある子のデイサービス事業は、これまで道南では音楽を通した取り組みや、知育系のメニューはあったが、体操で体を動かすのは初めて。マットや跳び箱などの器械体操で身体能力を向上させる。また活動と休憩を繰り返すことで集中力を身につける。社会適応力を目指すカリキュラムも用意している。

この施設の運営会社「アレスサポート」(函館)は、日本体操協会公認第1種審判員など



の資格を持つ関村卓弥さん（36）が、4月に設立した。関村さんは長年、器械体操のクラブで指導。10年ほど前に障害のある子を指導する機会があり、障害児のための体操デイサービスの構想を練ってきたという。

関村さんによると、道内の体操系デイサービスは、先駆けの網走市内の「オホーツクススポーツクラブ」をはじめ、札幌や旭川など計七つあり、函館のジャンピングで8カ所目という。

スタッフは、関村さんを含め、保育士や教員、介護福祉士などの資格を持つ7人。利用は3歳から小学生で、市町村が発行する受給者証が必要。未就学児対象の児童発達支援事業は、月一土曜の午前9時から正午まで。小学生対象の放課後等デイサービスは、月一土曜の午後2時から同5時まで。定員は各日10人で、週1、2回の通所をすすめている。

ジャンピング内には、約90平方メートルの体操室があり、マンツーマンに近い指導のびのびと体を動かせる。関村さんは「跳び箱などの運動を通して、子どもたちに成長してもらいたい。将来は就労支援にも取り組みたい」と話す。問い合わせはジャンピング（電）0138・87・2542へ。（内田晶子）

佳子さま 少年の主張全国大会に



NHKニュース 2015年11月8日

中学生が身近な体験を通じて意見を述べる「少年の主張全国大会」が、秋篠宮ご夫妻の次女の佳子さまも出席されて、8日東京で開かれました。

ことしで37回目を迎える「少年の主張全国大会」は、東京・渋谷区で佳子さまも出席されて開かれました。会場では、応募したおよそ55万人の中から選ばれた12人の中学生がみずからの思いや意見を発表しました。

ことしは病気や体の障害をテーマにした主張が多く見られ、交通事故で両足などに障害がある岡山県の男子生徒は、病院で出会った同じ障害のある男性が、仕事に誇りを持って明るく生きる姿に励まされたとして、「自分もしっかりと顔を上げて、夢に向かって進んでいきます」と述べました。佳子さまは中学生たちの主張に熱心に耳を傾け、発表が終わると拍手を送られていました。

審査の結果、最優秀の内閣総理大臣賞には、被爆者の体験を聞き、原爆の怖さや悲惨さを伝えていくことが大切だと述べた、広島市の中学2年生藤井志穂さんが選ばれました。



「苦しみ越える力に」自閉症に負けぬバイオリニスト、デビュー10年の演奏会へ 大阪の廣澤大介さん 産経新聞 2015年11月10日
「バイオリンで苦しみを乗り越えた思いを伝えたい」と話す廣澤大介さん。12日、節目の演奏会を大阪市で開く

「バイオリンは、生きていくのになくってはならないもの」。自閉症と診断されながら、バイオリニストとして活躍する大阪市在住の廣澤大介さん（34）がデビューから10年を迎えた。この間、記憶の一部が失われ、妄想や幻覚、力が入らないといった症状に苦しめられたりもしたが、どんなときもバイオリンを弾き続けた。12日には恒例の定期演奏会を同市中央区のドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）で開く。（安田奈緒美）

幼いころから、数字や記号などを理解するのが苦手で、運動能力も低かったという廣澤さん。小学校低学年のころに母親の宏子さん（71）が「脳に刺激を与えれば改善するかもしれない」とバイオリンを習わせたのが“運命の出会い”となった。

最初は楽譜が読めず、先生の音を聴き、まねをして曲を仕上げていった。宏子さんは「手先も不器用なのに、とにかく音楽に対する集中力だけはあって、1日に何時間も練習して習得しました」と振り返る。

大学生だった2001（平成13）年にポーランドで開かれた障害者のための国際音楽フェスティバルで特別賞を受賞したのをきっかけに、「自分の演奏で誰かを喜ばせることができた」と演奏家を目指すようになった。平成18年にプロとしてデビュー。各地の学校や障害者施設などで演奏を披露してきた。

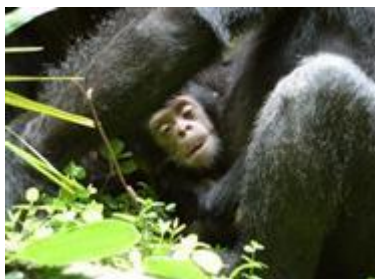
だが5年前、自閉症の二次障害で妄想や記憶を失うといった症状に苦しむようになった。立つのがやっとという日もあったが、演奏への熱意は消えず、5分だけでもバイオリンを手にした。演奏会も途切れることなく開いてきた。「舞台上に立っていると、客席で涙を流している人の姿が見える。そんなとき、バイオリンを続けていてよかったと思う」

12日のデビュー10年の節目の演奏会で弾くのは、ヴィターリの「シャコンヌ」。情熱的な旋律が印象的な曲を、時に荒々しく、時に優しく、たっぷりとした間をとって奏でる。廣澤さんは「苦しいことを乗り越えて弾き続けてきた。その思いを、情熱的なこの曲に乗せたい。僕の音楽を聴いてもらって、苦しみを乗り越える力にしてもらえたら」と話している。

午後6時半開演。2千円。問い合わせは廣澤大介ファンクラブ（（電）0745・62・5055）。

野生の神秘！障害あるチンパンジー、母らが家族ぐるみでケア 京大チームが世界初監察

産経新聞 2015年11月10日



障害のある野生チンパンジーの赤ちゃん（中村美知夫京都大准教授提供）

京都大の研究チームは9日、重度の先天的障害のある野生チンパンジーの赤ちゃんを、母親や姉が家族ぐるみで育てていた様子を観察したと発表した。中村美知夫准教授は、野生チンパンジーが障害のある個体はどう接するかを観察できたのは世界初とし、「チンパンジーはヒトに最も近い霊長類。人類社会で障害者のケアがどのように進化してきたかについて示唆を与えている」と話した。

赤ちゃんは2011（平成23）年1月、東アフリカ・タンザニアの国立公園で生まれた雌。生まれつき腹にこぶがあるほか、自力で座ったり母親にしがみついたりできなかった。

チームは、母親がこの赤ちゃんを抱えながら木登りする姿や、家族以外のチンパンジーに触らせないようにする姿を観察。赤ちゃんの姉も、母親をサポートするように積極的に子育てに関わっていた。ただ、2012年12月以降、赤ちゃんの姿は確認されていない。

中村准教授は「母親も姉も障害のある程度理解した上で手厚くケアしていたのではないか」としている。成果は霊長類研究の学術誌電子版に掲載される予定。

伊丹市と阪急阪神、見守りサービスで協定 来春試験運用 神戸新聞 2015年11月10日

兵庫県の伊丹市と阪急阪神ホールディングス（HD）は9日、同市内に設置する千台の防犯カメラとITを活用し、認知症高齢者や子どもの見守り事業の開発、運営などを進める協定を締結した。来年3月に試験運用を始める。同HDは全国の自治体にサービスを広げたいとしている。

見守り対象者は、小中学生と認知症の高齢者、障害者。小型発信機を持った対象者が防犯カメラの近くを通ると、カメラに設置された受信機が、位置情報や時間を家族のスマー

トフォンに通知する。



伊丹市の見守りシステムのイメージ

防犯カメラ千台を設置するという同市の取り組みを報道で知った同HDの角和夫社長が、藤原保幸市長に連絡。傘下の阪神電鉄が実施する見守りシステムの活用を提案したという。

同HDは今回のために新システム「まちなかミマモルメ」を開発。家族らはスマホに専用アプリを入れて使用する。また、見守りに協力する市民向けに、対象者が近くに来ると通知されるアプリも作成した。

利用には2572円の初期費用、月432円の使用料が必要。会場で角社長は「価格的にも安く安心が得られ、万が一のときに素早い対応ができる」とし、藤原市長は「市の取り組みが、未来に向けて必要なインフラになるはず」と話した。

(土井秀人)

災害への備えを動いて学ぶ 14日「あだち防災運動会」 東京新聞 2015年11月10日



3月に開かれたイベントで、応急的な担架で人を運ぼうとする参加者（いずれも「あなたと私のあだち防災プロジェクト」提供）

災害への備えの大切さを体を動かしながら考えてもらおうと、足立区の市民グループが14日、区中央本町地域学習センターの体育館で、参加型のイベント「あだち防災運動会」を開く。グループ代表の鈴木圭子さん（69）は「東日本大震災から時間が経ち、防災への関心が薄れているのではないかと、『3・11』の教訓を忘れないようにしたい」とイベントに込めた思いを話す。（松尾博史）

主催するのは、区内で地域の活性化や障害者支援などのボランティア活動をしている八団体で立ち上げたグループ「あなたと私のあだち防災プロジェクト」。防災について学びながら、より多くの区民に備えや助け合いの大切さを呼び掛けていくために、今年五月に設立した。

運動会で講師を務めるのは、防災に詳しい保育士の小林圭悟さん。身近にある毛布やトレーナーを使って応急的に担架をつくり、人を乗せて運ぶことを体験してもらう。災害時の避難所での生活を念頭に、数人で協力して段ボールを立体的に組み立て、生活用のスペースに仕上げるコーナーもある。

さまざまな食物アレルギーの人でも食べられる避難食の試食会も予定。食物アレルギーの人に配慮した避難食を、あらかじめ用意しておくことの重要性を訴える狙いがある。

プロジェクトの発足前の三月にも同様のイベントを開催したところ、約六十人が参加した。鈴木さんは「大人と子どもが一緒に楽しめる体験重視のイベントなので、より多くの人に参加してほしい」と呼び掛けている。

開催は午前十時～正午の予定。参加無料。申し込み不要（動きやすい服装で、上履きや靴を入れる袋を持参の上で、直接会場へ）。

問い合わせは、鈴木さん＝電090（4944）3984＝へ。

日本郵便を嚴重注意 通知カード配達でミス相次ぎ

朝日新聞 2015年11月9日

マイナンバー（社会保障・税番号）の「通知カード」の配達ミスなどが相次いでいる問題で、高市早苗総務相は9日、日本郵便の高橋亨社長を呼んで嚴重注意し、再発防止を求めた。通知カードの配達をめぐる日本郵便への行政指導は、今月2日に続いて2度目。

通知カードは、10月下旬から各世帯へ簡易書留での配達が始まった。総務省によると、誤って隣家に届けたり、手渡しすべきなのに配達員が受け取りサインを偽装して郵便受けに入れたりする事例が計13件発生した。高市氏は、高橋社長に渡した文書のなかで、特にサイン偽装について「日本郵便への信頼を損なうことになりかねず、極めて深刻」としている。

厚労省庁舎に巨大「オレンジリボン」 「189」をPR 伊藤舞虹

朝日新聞 2015年11月10日

厚労省の入った合同庁舎に浮かび上がったオレンジリボン=9日午後5時49分、東京都千代田区、金川雄策撮影

厚生労働省が入る東京・霞が関の中央合同庁舎第5号館に9日、巨大な「オレンジリボン」が浮かび上がった。児童虐待防止運動のシンボルで、11月の児童虐待防止推進月間のキャンペーンの一環だ。7月に始まった児童相談所の全国共通ダイヤル「189」をPRする狙いもある。

オレンジリボンは高さ46メートル、幅16・5メートル。厚労省虐待防止対策室の職員が、11～22階の窓102枚にオレンジ色の模造紙を貼りつけてつくった。「189」は「いちはやく」の語呂合わせで、児童虐待の通報のほか、子育てに関する悩みも24時間受け付ける。厚労省によると、全国の児相が昨年度に対応した児童虐待は8万8931件（速報値）で、24年連続で過去最多を更新した。（伊藤舞虹）



社説：介護職人材難 意欲と経験が報われる職場に

読売新聞 2015年11月10日

政府は「1億総活躍社会」の主要目標の一つとして「介護離職ゼロ」を掲げる。安倍首相は読売国際経済懇話会（YIES）で、特別養護老人ホームの増設を改めて表明した。

ただ、施設を作っても、そこで働く人が不足しては、十分に機能しない。政府の「1億総活躍国民会議」で、実効性ある人材確保策を練り上げてもらいたい。

介護職の有効求人倍率は2倍を大きく超える状況が続いている。人材難は深刻である。職員が集まらず、サービス縮小を余儀なくされる事業者も目立つ。

厚生労働省の推計では、団塊の世代が全て75歳以上になる2025年度には、今より80万人多い253万人の介護職員が必要になる。現在の増員ペースでは、38万人の不足が生じる見込みだ。

介護職が敬遠される最大の要因は、賃金の低さだ。平均月給は約22万円で、全産業平均より11万円も少ない。人手不足が重労働を招き、不人気に拍車をかける。

政府は4月の介護報酬改定で、職員の賃金が平均で月1万2000円アップするように加算制度を拡充した。確実に賃上げが実施されているか、行政は厳格にチェックすべきだ。

さらなる処遇改善も不可欠だろう。国民会議などで、財源確保策と併せて検討する必要がある。

経験と技能が賃金に結びつく仕組みの確立も重要だ。認知症ケアなどでは高い専門性が要求される。職員の意欲が報われるよう、事業者には、計画的な人材育成と能力を適正に評価する人事・賃金システムの整備が求められる。

政府や自治体の後押しも欠かせない。静岡県は、キャリアに応じたモデル給与額を事業所に提示している。京都府は、人材育成に積極的な事業所の認証制度を設け、取り組みを促している。

将来設計が描きやすい職場になれば、離職防止や新たな人材の確保につながる。

先の国会に提出された社会福祉法改正案には、離職した介護福祉士の届け出制の創設が盛り込まれた。都道府県の福祉人材センターによる復職支援強化が狙いだ。

介護職に就いていない介護福祉士は50万人超に上るだけに、早期成立が望まれる。

高齢者など多様な人材の活用にも目を向けたい。介護職場では、清掃や配膳などの補助的業務も多い。専門性の高い業務と役割分担を明確にし、それに合わせて研修制度などを工夫すれば、人材のすそ野が広がるのではないかと。

社説：同性カップル 多様性認め合う社会に 朝日新聞 2015年11月10日

生活をともにする同性カップルを、夫婦と同じような関係として認める。全国に先駆けて、東京の渋谷区と世田谷区で生まれた条例の制度が動き始めた。

だれもが自分らしくあることを行政が支える意義は大きい。認定第1号となった渋谷の女性2人は、区の発行したパートナーシップ証明書を手に、はじけるような笑顔を見せた。

同性カップルが自分たちの関係を他人に説明し、受け入れてもらうには、今でもさまざまな差別や偏見の壁がある。

親戚と偽らないと、同じ部屋を借りて住めない。手術などの同意に、もっとも身近な存在であるパートナーとして関与できない。渋谷区の証明書や世田谷区の受領証は、こうした場面での活用を想定されている。

社会に「見えない存在」になりがちだった同性カップルが、書類を通じて「身近な存在」に変わる。今回の取り組みが意識の入れ替えを求める相手は、カップル自身ではなく、むしろその周りの人びとだろう。

法律のような強制力はない。だからこそ周りの理解がかぎとなる。いかなる差別もあってはならず、多様性を認め合おうという条例の理念を地域で育て、根づかせていきたい。それが、全国に波を広げることにもつながるだろう。

性的少数者にとっては、今回は問題解決策の小さなひとつに過ぎない現実も留意したい。

カミングアウト出来ず、役所の窓口で申請するというハードルを越えられない人もいる。特定のパートナーがいない人も大勢いる。

目指すべきは、今回のような紙の発行があってもなくても、だれもが個々の人間の多様性を認め合う社会をつくることだ。

最近では保険会社が、同性カップルのパートナーを生命保険の受取人として認めるようになってきた。「結婚」休暇を認める企業もあるなど、働く場で平等に扱う動きが少しずつ広がってきた。

地縁・血縁に頼りにくい性的少数者は、自分の将来や老後について不安が強いと言われる。安定した暮らしを築くうえで不利がないよう、官民間わず、各方面の取り組みを進めたい。

国連では08年、性的指向などによる人権侵害をなくすよう求める声明を約60カ国が総会に出した。日本も賛同している。

その一方で日本は、国連人権理事会などから、性的指向にもとづく差別が存在しているとして是正を勧告されている。国レベルの取り組みについても議論を深めるきっかけにしたい。

